



NEWS RELEASE

平成 30 年 10 月 吉日

日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム
株式会社フェニックスとの連携による「スポーツ情報センターの設立・運営による、
スポーツを通じたまちづくりのモデル事業」について

豊橋信用金庫（理事長 山口 進）と株式会社フェニックス（代表取締役社長 北郷 謙二郎）は、公益財団法人日本財団「わがまち基金」からの助成金を活用し、東三河地域のスポーツ情報を集積・発信することで、スポーツの集客力を高め、当地域のスポーツ産業の発展と住民の健康づくり、街の賑わいの創出を図り、地域の活性化事業に取組みます。

1. 「わがまち基金」の概要

日本財団「わがまち基金」（以下、「わがまち基金」と言う）とは、地域に新たなお金の流れを創出することで、地域の課題解決、及び、地域の明るい未来の実現に向けた事業や担い手の育成等を支援し、地域が独自の強みを活かした自立的かつ持続可能な社会の創出を図ることを目的としたプロジェクトです。

「地域創生支援スキーム」は、わがまち基金と信金中央金庫との連携により、地域の課題解決のために取組む全国の信用金庫等に対し、助成金を交付するものです。

2. 助成金決定の経緯

本スキームの平成 30 年度第二次募集（平成 30 年 7 月 2 日～7 月 31 日）に応募し、日本財団、信金中央金庫、全国信用金庫協会、学識経験者の諮問会議による審査を受け、助成金が交付されることとなりました。

3. 事業内容

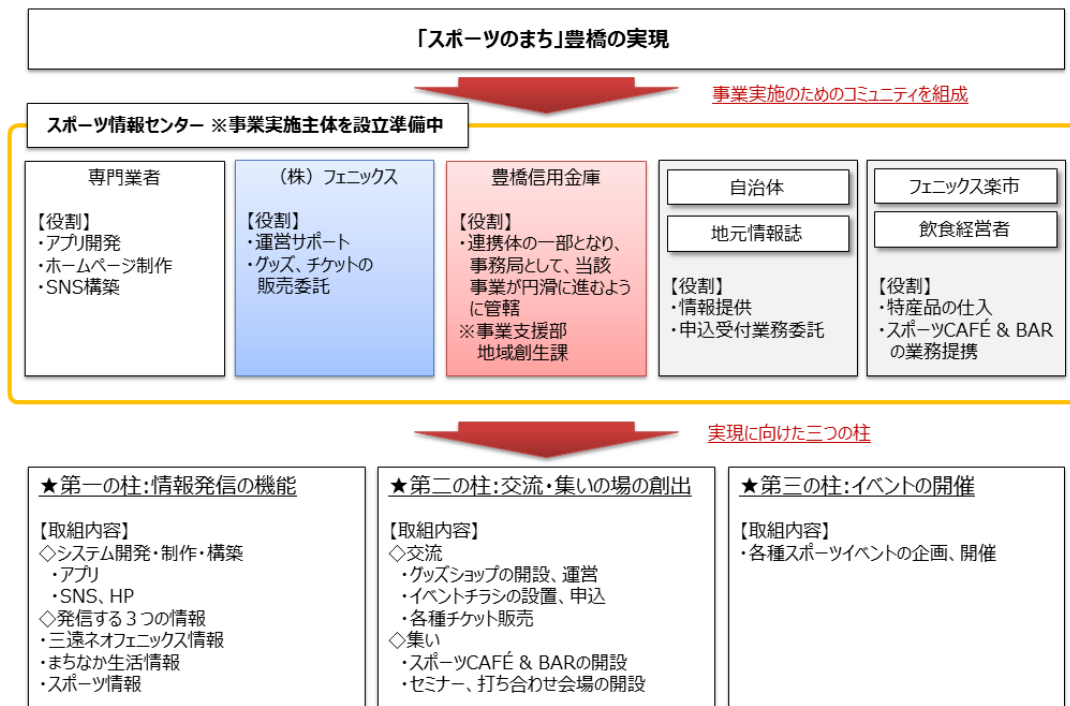
本事業は、当金庫と株式会社フェニックスが主体となって、スポーツの集客力を高め、当地域におけるスポーツ産業の発展と住民の健康づくり、街の賑わいを創出する事業です。

具体的には、プロバスケットボール B.LEAGUE に参加する「三遠ネオフェニックス」の運営会社である株式会社フェニックスと当金庫が事業推進主体となり、行政や民間団体等と連携して、豊橋市を中心とした東三河地域のスポーツ情報を集積・発信する「スポーツ情報センター（仮称）」を設立します。「スポーツ情報センター」では、以下の三つの事業を実施し、「スポーツのまち“とよはし”」の実現を目指します。

- ①地域のスポーツ情報の発信
- ②スポーツ愛好家等の交流・集いの場の創出
- ③地元商店街への回遊を促すスポーツイベント等の開催

事業実施期間は、2018 年 10 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日の 3 年間。本事業に係る費用の一部に「わがまち基金」を活用することで、地域の活性化に取組みます。

[事業スキーム図]



[記者会見：記念撮影]



(左から、信金中央金庫 名古屋支店 豊島支店長、豊橋信用金庫 山口理事長、公益財団法人日本財団 長谷川チームリーダー、株式会社フェニックス 菅沼アソシエイトディレクター、株式会社フェニックス 北郷社長、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ 浜武専務理事

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
 豊橋信用金庫 事業支援部 (担当：西郷)
 電話 0532-57-7033
 〒440-8603 豊橋市小畷町 579 番地